

I. 「私たちの主また神よ、あなたは、栄光と尊貴と力とを受けるにふさわしいです。あなたは万物を創造され、あなたのみこころのゆえに、万物は存在し、創造されたからです」(啓4:11):

A. 神は定められた御旨を持つ神であり、ご自身の喜びのみこころを持っています。

エペソ3:9 それはまた、万物を創造された神の中に、各時代にわたって隠されてきた奥義のエコノミー[経綸]が何であるかを、すべての人を照らして明らかにするためであり、10 今、天上にある支配たちや権威たちに、神の多種多様な知恵を、召会を通して知らせるためであり、11 神が私たちの主キリスト・イエスの中で立てられた、永遠の定められた御旨にしたがっているものです。

コロサイ1:19 なぜなら、御子の中に、全豊満は喜んで住まわれたからです。

ローマ1:15 そこで、私には、ローマにいるあなたがたにも、福音を告げ知らせる用意ができています。16 私は福音を恥としません。福音は、ユダヤ人をはじめギリシャ人にも、すべて信じる者を救いに至らせる神の力です。

パウロはローマ人の手紙第1章で、神の福音は救いの力であると言っています。ローマ人への手紙全体は実際、神の福音です。神の福音は、人全体に対する神のすべてを含むメッセージです。神の福音は、神の言葉において啓示されたすべての真理の神の語りかけです。ですから、福音はすべてを含んでいます。福音は、神から私たちへの、公式の、すべてを含むメッセージです。それは神ご自身についての言葉です。それは神の御子キリストのパーソンと働きにおける彼について、神の全体的な救いについて、新エルサレムについてです。

私たちはここで、人の必要のためだけに、またおもに人の必要のために福音を知らせているのではありません。私たちが福音を告げ知らせるのは、神の必要を満たすためです。それは、神の心の願いを成就するためです。宇宙が存在しているのには理由があります。日本人は、この理由のためにここにいるはずです。確かに、私たちはみなこの理由のためにここにいるのです。

私たちは神の福音と神の定められた御旨とを結び付けています。主のあわれみによって、私たちは神の定められた御旨に関して何かを知っています。私たちは、この定められた御旨のために創造されたことを知っています。しかし、私たちは他の多くの人たちを見て、彼らの人生が無意味であることを見ました。ある人は、ゴールデンウィークの間でさえ、一日十六時間働いています。それはゴールデンウィークではなく、奴隷ウィークです。ですから、正しく理解された福音とは、人々を神と彼の定められた御旨に再びもたらすものです。このメッセージと次のメッセージで、私たちは神の定められた御旨に関して土台を据えます。そして後の四つのメッセージで、私たちは、福音を告げ知らせることが、どのようにして神の定められた御旨を成就するかを見ます。

B. 神は彼のみこころのために万物を創造しました。それは、彼がご自身の定められた御旨を達成し、成就するためです。**啓4:11** 私たちの主また神よ、あなたは、栄光と尊貴と力とを受けるにふさわしいです。あなたは万物を創造され、あなたのみこころのゆえに、万物は存在し、創造されたからです。

宇宙とそこにあるあらゆる積極的なものは、神のみこころのゆえに創造されました。これは、神のみこころが、彼が行なうあらゆることの源であることを示しています。あなたが存在しているのは、神のみこころのゆえです。あなたが存在するために、神が何を行なわなければならなかったかを考えてみてください。あなたがたの大部分は日本人であり、日本語を話します。ですから、それは日本と呼ばれる国であるに違いありません。あなたは両親から生まれました。彼らは彼らの両親から生まれています。ですから、神は、あなたが生きて存在するために、多くの事を行なわなければならなかったのです。彼は太陽を創造し、地を創造しなければなりませんでした。要点は、神のみこころが源であるということです。神のみこころのために生きない人はだれでも、矛盾という生活を生きなければなりません。神は、彼のみこころのゆえに、あなたを創造しました。あなたがそれを知り、行ないたいなら、あなたの人生は神の定められた御旨にささげられなければなりません。

C. 神が彼の奥義を私たちに知らせ、神のみこころが何であるかを私たちが理解することは、神の心の喜びでした。

エペソ1:9 みこころの奥義を私たちに知らせてくださいました。これは、神がご自身の中で計画された彼の大きいなる喜びによるもので、**5:17** こういうわけで愚かであってはなりません。かえって、何が主のみこころであるかを理解しなさい。

私が二十四歳の若者であったとき、主は特別なあわれみを私に与えてくださいました。私は彼のみこころを、すなわち、完全なみこころを追い求め始めました。そのことが起こる一年前に、私は愛すべき若い婦人に出会いました。それは二目惚れでした(二度目に会ったときの愛)。私たちは両者とも、神のみこころがこの関係の源であったことを認識していました。あなたがたは知っているかもしれませんが、私の妻は、四十九年間の結婚生活の後に、主と共にいます。彼女の生涯の最後において、私たちはとても甘い会話を持ちました。私は妻に言いました、「あなたは私にとって、神の完全なみこころです」。彼女も、私が彼女にとってそうであると述べました。それから、神のみこころにしたがって、彼女は自分の行程を終えました。そのいずれも、私にとって理論ではありませんでした。神は彼のみこころのゆえに、宇宙を創造しました。神は彼のみこころのゆえに、私たちを創造しました。神は彼によって贖われ、彼のみこころを行なう人々を探し求めています。今や私たちは、神のみこころと言うときに意味するものをさらに見ます。

II. 神のみこころとは神の願いです。神のみこころとは、彼が行ないたいことです(エペソ1:9):

私は穏やかな方法で尋ねたいです。あなたは、パウロが主に尋ねた質問を主に尋ねたことがあるでしょうか？ パウロは主に尋ねました、「主よ、私は何をすべきでしょうか？」。主よ、あなたは私に何をしてもらいたいのでしょうか？ 今や私と主との生活はとても単純です。私はこのように主の御前で生きています、「主よ、あなたが行ないたいことは何であれ、行なってください」。神のみこころとは、彼が行ないたいことです。恐れなくてください。最も幸いな人は、神のみこころを行なう人たちです。ある若者たちはこう言うかもしれませんが、「もし私が、『あなたが行ないたいことは何であれ、行なうことができます』と主に告げるなら、多く苦しむでしょう」。私はあなたに対して正直でなければなりません。もしあなたが、神の行ないたいことは何であれ、彼に行なっていたら、多く苦しむでしょう。しかし、もしあなたが彼のみこころに対してノーと言い、自分自身の意志を求めるとしても、多く苦しむでしょう。いずれにせよ、あなたは多く苦しむのです。それが人生です。私たちは、人生が困難であることを知っています。あなたが行ないたいことは何であれ、私はアーメンと言うことは安息に満ちています。神のみこころとは、彼が行ないたいことです。

A. 神の大いなる喜びとは彼のみこころから出たものであり、彼のみこころの中に具体化されているので、彼のみこころが最初に来ます。

エペソ1:5 みこころの大いなる喜びにしたがい、イエス・キリストを通して、私たちを子たる身分へと、**彼ご自身へ**あらかじめ定められました。

B. 神が彼のみこころの奥義を私たちに知らせたのは、神がキリストの中で啓示することを通して、すなわち、キリストの肉体と成ること、十字架、復活、昇天を通してです。

C. 神はみこころの熟慮にしたがってすべての事柄を行ないます。神のみこころとは、彼の目的です。神の熟慮とは、彼のみこころ、あるいは目的を成就する方法を、彼が考えることです。

エペソ1:9 みこころの奥義を私たちに知らせてくださいました。これは、神がご自身の中で計画された彼の**大いなる喜び**によるものです。**11** その方の中で、私たちも嗣業として定められ、みこころの熟慮にしたがってすべての事柄を行なう方の定められた御旨により、あらかじめ定められていたのです。

最上の生き方とは、あなたが神の方法で、神の時において神のみこころを行なうことです。それが最上なのです。それから、神は彼のご計画を成し遂げます。箴言は、主が「人の歩みを導かれる」と言います。どのようにして人は自分自身の生涯について理解することができるのでしょうか？ 私は自分自身の生涯について理解していません。それは奥義です。今や、将来は大きく開かれています。何が起こるのでしょうか？ どのようにして私は生きるのでしょうか？ 主に導いていただきましょう。主に案配していただきましょう。私は今日、ただ彼を愛し、享受します。今や、私たちはキリストと召会に関する神のみこころの内容を見る必要があります。

Ⅲ. コロサイ人への手紙は、神の大きいなる永遠のみこころに関する書です：

- A. コロサイ人への手紙が啓示しているのは、神のみこころが、全宇宙において、創造において、贖いにおいて、来たるべき時代において、永遠において、彼の願いと目的にしたがっているということです。
- B. コロサイ第1章9節における神のみこころは、神の永遠の定められた御旨についての、キリストに関する神のエコノミーについてのみこころです。コロサイ1:9 …どうかあなたがたが、あらゆる霊的知恵と理解力において、神のみこころを知る全き知識で満たされ。
- C. 神のみこころを知る全き知識を持つことは、神のご計画の啓示を持って、神が宇宙で行なうのを計画していることを、私たちが知ることであります。

コロサイ4:12 …それは、あなたがたが完全に成長し、また神のみこころのすべてを十分に確信して立つためです。

とても多くの愛する信者たちが、霊的な事柄においてでさえ、自己中心的であるのです。彼らは、神が彼らのために願っていることを顧慮しているだけです。一つの英語の本は、大ベストセラーになりました。その本の題名は「人生を導く五つの目的」(邦訳)です。それらはすべて、あなたのための神の目的についてです。神のための神の定められた御旨についてはどうでしょうか？ 私たちはどのようにしてそれと一致するのでしょうか？ ですから、私たちは、神のご計画に関する神のみこころを知る全き知識を必要とします。それは、神が彼の宇宙において行なおうと計画していることを、私たちが知るためです。それは福音の一部分です。

私たちは付近の大学に行って、関心を持っている学生と会話することができます。私たちは彼に質問するかもしれませんが、「あなたは宇宙の意義を知っているのでしょうか？ あなたは、この宇宙がどのようにして終わるのかを知っているのでしょうか？ 私は神のご計画と、この宇宙がどのようにして終わるのかについて、あなたに告げることができます。私は、地がどのようにして終わるのかについて、また日本がどのようにして終わるのかについて、あなたがどのようにして終わりを迎えるのかについて、あなたに告げることができます。あなたはそれについて少しばかり知りたくないのでしょうか？ あなたはこのことについて考えることができます。あなたは以前、このことについて決して聞いたことがないでしょう」。これが、私たちが、神、神のみこころ、神の願い、神のご計画、神が宇宙において行なおうと計画していることをもって開始するという、私たちの負担です。ペテロの第二の手紙の最後のほうを読んでみてください。「すべての物が、このように溶解していく」のです。新しい天と新しい地があるようになります。中心は、新エルサレムと呼ばれる団体の人となります。その目標は今や、あなたの人生と関係があるのです。あらゆる人は神に会うでしょう。日本のあらゆる人は神に会うでしょう。例外はないでしょう。あなたには、神に会う二つの方法があります。あなたは火としての神に会うことができるか、あるいは、命の水としての神に会うことができるかです。これが、どのようにしてあなたの人生が終わるのかについてです。火でしょうか、水でしょうか？ 今や私たちは前進して、キリストと召会に集中します。

- IV. 神のみこころはキリストに集中しており、キリストのためです。キリストは神のみこころの中ですべてです：
コロサイ1:9 …どうかあなたがたが、あらゆる霊的知恵と理解力において、神のみこころを知る全き知識で満たされ。
- A. 第1章9節で、神のみこころはキリストを指しています。神のみこころは、すべてを含み拡張するキリストを、私たちが知り、経験し、生きることにに関して深遠です。キリストは神、人、宇宙におけるあらゆる積極的な事物の実際です。コロサイ2:9 なぜなら、キリストの中には、神たる方の全豊満が肉体のかたちをもって住んでいるからです。17 これらは来たるべき事柄の影であって、その本体はキリストにあります。18 あなたがたをふさわしくないと断言して裁く、わざとらしい謙そんや天使礼拝をする者に、あなたがたの賞をだまし取らせてはなりません。彼らは自分の見たものにとどまり続け、思いを肉に付けることによっていたずらに思い上がっていて、
- B. キリストは首位の方、すべてにおいて第一位である方です。
コロ1:18 そして御子は、召会であるからだのかしらです。彼は初めであり、死人の中から最初に生まれた方です。それは彼ご自身が、万物のうちで第一位となるためです。
- C. すべてを含み拡張するキリストは、神のエコノミーの中心性と普遍性、中心と周辺です。
コロサイ1:15 御子は、見えない神のかたちであり、全被造物の中で最初に生まれた方です。16 なぜなら、万物は、天にあるものも地にあるものも、見えるものも見えないものも、位も、主権も、支配も、権威も、すべて御子の中で創造されたからです。万物は彼を通して、彼のために創造されたのです。17 また、御子は万物より先に存在し、万物は彼にあってまとまっています。19 なぜなら、御子の中に、全豊満は喜んで住まわれたからです。
エペソ1:10 時代の満了時のエコノミー[経綸]へ至るためです。すなわち、キリストの中で、天にあるもの地にあるもの、すべてのものを、彼の中でかしらにつり上げようとされたのです。
1. 神のエコノミーにおいてキリストはすべてです。神はキリストを、キリストだけを欲しています。彼はすばらしい、首位の、すべてを含むキリストであり、すべてでありすべての中におられます。
マタイ17:5 彼がまだ語っている間に、見よ、輝く雲が彼らを覆った。そして見よ、雲の中から声があって言った。「これは私の子、愛する者、私は彼を喜ぶ、彼に聞け!」。
コロ3:10 新しい人を着たのです。その新しい人は、それを創造された方のかたちにしたがって全き知識へと至るように、新しくされつつあるのです。11 その新しい人には、ギリシャ人とユダヤ人、割礼と無割礼、未開人、スクテヤ人、奴隷、自由人はあり得ません。キリストがすべてであり、すべての中におられるのです。
2. 神のエコノミーにおける目的は、すばらしい、すべてを含み拡張するキリストを、私たちの存在の中へと、私たちの命またすべてとして造り込んで、私たちが三一の神の団体の表現となることです。 5・金

D. 神のみこころは、すべてを含み拡張するキリストが、私たちの分け前となることです。

コロサイ1:12 光の中で、聖徒たちに割り当てられた分け前にあずかるようにと、あなたがたを資格づけてくださった御父に、感謝をささげるように。

E. 神のみこころは、私たちがキリストを知り、キリストを経験し、キリストを享受し、キリストで浸透され、キリストを私たちのパーソンまた命として持つことです。

コロサイ3:4 私たちの命なるキリストが現される時、あなたがたも、彼と共に栄光のうちに現されます。

V. 神のみこころは、キリストのからだとしての召会を持つことです：

コロサイ2:19 かしらに結び付いていないのです。この方から、からだ全体は、節と筋によって豊かに供給され、結合され、神の増し加わりによって成長するのです。3:15 そして、キリストの平安に、あなたがたの心を裁定させなさい。この平安のためにあなたがたも、一つからだの中で召されたのです。

A. 神のみこころは、キリストのためにからだを得て彼の豊満、彼の表現とならせることです：

エペソ1:22 また神は、万物をキリストの足の下に服従させ、そして彼を万物の上にかしらとして召会に与えられました。23 この召会は、キリストのからだであり、すべての中ですべてを満たしている方の豊満です。

1. からだの生活をするとは、「何が神のみこころであるか…を、…わきまえる」ことです。

ローマ12:4 一つの体の中には多くの肢体があり、そしてすべての肢体が同じ機能を持っていないように、5 私たちも数は多いのですが、キリストの中で一つからだであり、そして各自は互いに肢体なのです。

2. 私たちがからだの正常な肢体であり、召会生活の中で行動し機能するなら、神のみこころの中の人となります。1コリント1:1 神のみこころを通して召されたキリスト・イエスの使徒パウロと、兄弟ソステネから、2 コリントに在る神の召会へ、すなわち、キリスト・イエスの中で聖別された者たち、召された聖徒たち、それと共に、私たちの主イエス・キリストの御名を至る所で呼び求めているすべての者へ。彼は彼らのもの、また私たちのものです。

B. キリストはからだのかしらであり、私たちは彼のからだの肢体です

エペソ4:15 むしろ、愛の中で真実を固く保って、私たちはすべての事で、彼すなわちかしらであるキリストの中へと成長し込むのです。16 この方から、からだ全体は、その豊富な供給のあらゆる節々を通して、またそれぞれの部分の度量に応じた活動を通して、結合され組み合わせられ、からだを成長させ、愛の中でそれ自身を建て上げるに至るのです。

1. からだの中で生きることは、かしらの下で肢体たちと共に団体的に生きることです。

2. からだの生活をするために、私たちはかしらの下にいなければならず、またかしらを私たちの命、主要な目的、私たちの全存在の中心としなければなりません。

- ① 神のみこころのために生きない人はだれでも、矛盾という生活を生きなければなりません。神は、彼のみこころのゆえに、あなたを創造しました。あなたがそれを知り、行ないたいなら、あなたの人生は神の定められた御旨にささげられなければなりません。日本の現在の人口は、約一億二千万人です。一億二千万人の愛する人たちがいます。何人の人たちが、神と神のみこころを知っているのでしょうか？ さらに、何人の人たちが、神のみこころのために生きていますでしょうか？ 彼らは私たちからの言葉を聞く必要があります。

万物は神のみこころのために創造されました。したがって、神のみこころを認識し、それを実行しなければ矛盾と混乱の人生に陥ってしまいます。結婚生活においても、兄弟は自分の姉妹が神のみこころであり、姉妹は自分の兄弟が神のみこころであることを知るべきです。そして、互いに受け入れ合い、互いに愛し合い、互いに助け合って、神のみこころを実行する必要があります。会話がかみ合わない、気持ちが通じ合わないことを放置していると、やがて家庭内別居のような結婚生活に陥ってしまう可能性があります。そうであれば神の御心にかなった結婚生活を持つことはできなくなります。サタンはなんとかしてあなたが神のみこころを理解しない、あるいは理解しても実行しない人にしようと様々なことを行い、あなたを妨げようとしています。主、召会、兄弟姉妹たちからの神の語りかけに開き、暗闇から光に転機して、みこころを実行するために献身を更新してください。また、日本の一億二千万人の日本人に神のみこころを知らせるために、あなたは兄弟姉妹と共に福音を積極的に宣べ伝える必要があります。

- ② からだの生活をするために、私たちはかしらの下にいなければならず、またかしらを私たちの命、主要な目的、私たちの全存在の中心としなければなりません。なぜ私たちは存在しているのでしょうか？ なぜなら、神にはみこころがあるからです。…あなたが年齢がどうであるかにかかわらず、結婚しているか、独身であるかにかかわらず、あなたの健康がどうであるかにかかわらず、あなたの環境がどうであるかにかかわらず、あなたのための神のみこころは、あなたがキリストを享受することです。あなたが召会生活の中でからだの生活をするのです。これが神のみこころです。どうか来たるべき年に、数百人もの日本人が神のみこころに関する言葉を聞くことができますように。

神のみこころは、あなたが一生涯召会生活の中でキリストを享受し、成長することです。あなたの人生において、何があっても決して召会生活を離れてはいけません。また、召会生活が単純な繰り返しであると考えて、軽んじてはいけません。神のみこころを疑問に思い、不信仰を伴う複雑な思いによって人生を開こうとすることは、悪魔からの誘惑です。複雑さはサタンから来ます。単純になって、兄弟姉妹と共に主を享受し、福音を伝え、新人を養うことは神のみこころです。夫婦は力を合わせて、一つ霊、一つ魂をもってこのことを実行すべきです。そうすればあなたの結婚生活を通して、命の水が豊かに流れ出でよう。

詩歌768究極的な現れ—神の中心思想

- 1 かみの中心思想, ひととの合ぺい, すべてとなりて, けいかく成就す。
- 2 ひととはうつわで, 三部分から成り, かみ,いのちとし, かみとひとつぞ。
- 3 いのちのながれ, 宝せきに変える; み住まいとなり, えい光あらかす。
- 4 かみのみやこは, かみのもくてき; 御むねは成就す, そは新エルサレム。
- 5 聖徒らの建ぞう, かみ,ひとの調和; かみとひととの ひつ要を満たす。
- 6 かみ,小ひつじの 御座の中心より, いのちのかわは, みやこ,ながれる。
- 7 主はいのちの木, かわのきし辺で, 神聖な実むすび, しょくもつ供給す。
- 8 キリストにある ひかりなるかみ, みやこを照らし, よるを追い出す。
- 9 かみ,ひとにあり, ひと,かみにあり, かみ,ひとの内容, ひと,かみの表現。

768終極的顯出— 神中心的思想

- 1 阿, 神中心的觀念, 乃是與人相結聯, 祂來作人的一切, 使祂計畫得成全。
- 2 人是被造的瓦器, 有靈、有魂也有體; 人可取神作生命, 藉此與神成為一。
- 3 藉著生命的流通, 人變寶石為神用; 適合為神造居所, 讓神彰顯祂光榮。
- 4 這是聖城神所建, 這是居所神所羨; 這是新耶路撒冷, 完滿成全神心願。

Hymn972

1. Lo, the central thought of God Is that He be one with man; He to man is everything That He might fulfill His plan.
2. Earthen vessel man was made - Body, soul, and spirit too, God as life that he may take And with Him have oneness true.
3. By the flow of life divine, Man becomes a precious stone Fit for building God's abode, That His glory might be known.
4. 'Tis the city God hath built, 'Tis the dwelling God requires, 'Tis the new Jerusalem Which fulfills His heart's desires.
5. 'Tis the building of the saints, 'Tis the blend of God and man, Purposed by the Father's will Long before the world began.
6. In its center, as its pow'r, Is the throne of Christ and God, Whence doth flow the stream of life As the Spirit's living flood.
7. Christ, the tree of life, is there In the flowing of the stream, Yielding fruit of life divine As the food of life supreme.
8. God in Christ, the glorious light, Thru the city brightly shines, Scattering all the deathly night With its light of life divine.
9. God in man and man in God Mutual dwelling thus possess; God the content is to man, And the man doth God express.

- 5 這是眾聖的建造, 這是神、人的相調; 原是父神所籌畫, 滿足神、人的需要。
- 6 神和羔羊的寶座, 在這榮耀的居所; 從這掌權的中心, 流出聖靈生命河。
- 7 基督乃是生命樹, 長在河的兩岸處; 結出神聖生命果, 供應眾聖作食物。
- 8 神在基督裏作光, 透過全城來照亮; 死亡之夜全驅盡, 神聖之光照輝煌。
- 9 神在人裏, 人在神, 互為居所來藏身; 人的內容乃是神, 神的表現乃是人。